
モバイルルータ市場の将来展望

～モバイルネットワーク高速化により注目されるモバイルルータ市場の最新動向分析～

移動体通信・IT専門の調査会社である株式会社 MCA (<http://www.mca.co.jp/>) は、3月2日に調査レポート「モバイルルータ市場の将来展望～モバイルネットワーク高速化により注目されるモバイルルータ市場の最新動向分析～」(価格:73,500円/税込み)を発刊しました。

モバイルルータは、携帯電話/PHSネットワーク(モバイルネットワーク)と、企業や家庭に設置された LANあるいは無線LAN(Wi-Fi)を接続するゲートウェイといえる装置です。

数年前までは WAN 回線に PHS を利用するものが主流でしたが、07年頃から、下り最大 3Mbps 超と数年前の ADSL 並の高速データ通信を比較的安価な定額制料金で利用できる HSPA の利用が可能となり、これを機に活用領域が大きく広がっています。

モバイルルータは主に企業で利用されてきましたが、08年後半以降消費者を対象とした Wi-Fi 対応の安価な製品が次々と発売され、モバイル PC や PSP のようなゲーム機などの無線 LAN モジュール内蔵の多様なデバイスを手軽にネットに接続できる新たなツールとして注目を集めるようになっていきます。

さらに今年 2 月に試験サービスが開始された WiMAX をはじめ、今後次世代 PHS、LTE など数 10Mbps クラスの高速データ通信を可能にする新たなサービスの提供が見込まれており、これを機に市場は急拡大する可能性が高くなっています。

本レポートは、こうした状況を踏まえ、これまでアクセスルータ製品の 1 バリエーションとして捉えられることが多かったモバイルルータを新たな製品カテゴリとして切り出し、その現状と可能性について分析を試みたものです。

調査対象先

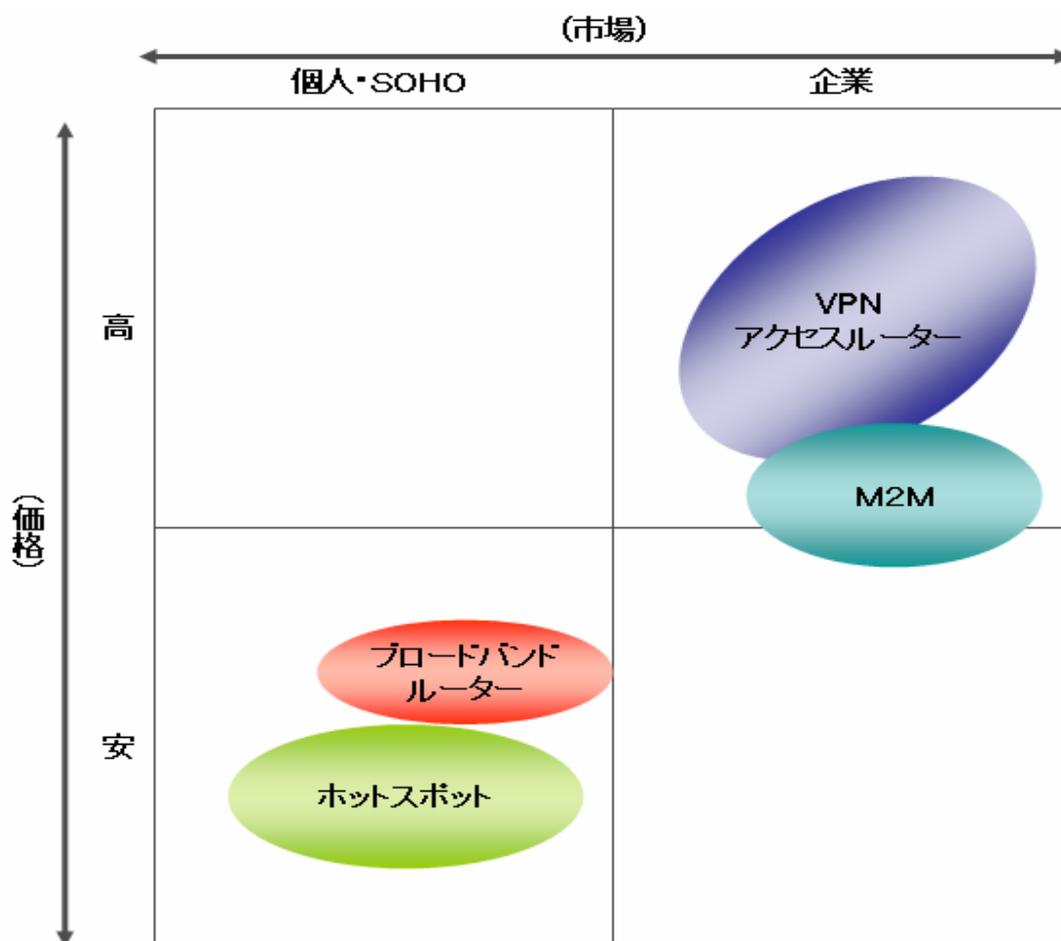
モバイルルータベンダー

- (1) コミュニティア
- (2) トリプレットゲート
- (3) コベンティブ
- (4) ウィルコム
- (5) プラネックスコミュニケーションズ
- (6) アイ・オー・データ機器
- (7) ネットインデックス
- (8) 古河電気工業
- (9) 富士通
- (10) インターネットイニシアティブ(IIJ)
- (11) ヤマハ
- (12) NEC エンジニアリング
- (13) センチュリー・システムズ
- (14) iND
- (15) サン電子

調査結果抄録

価格とターゲット層から見たカテゴリ別分析

モバイルルータ製品のターゲットと価格帯

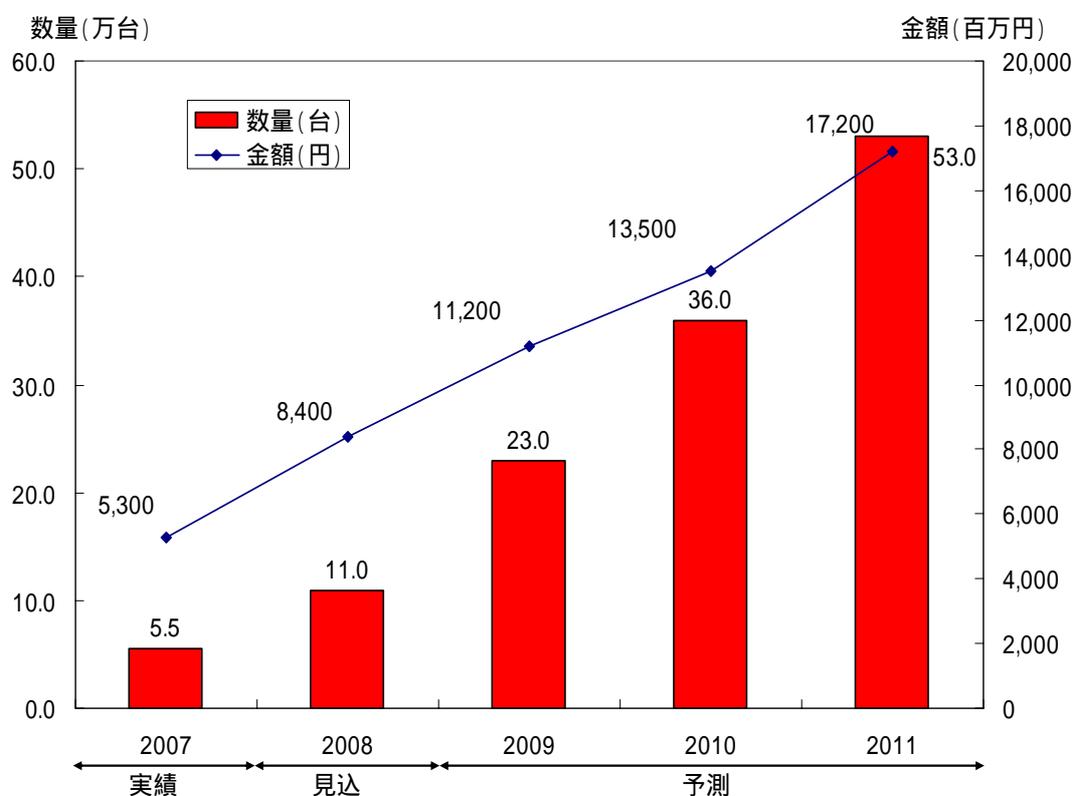


(出典: MCA)

モバイルルータをカテゴリ別に分類すると、大きく個人・SOHO向けの「ブロードバンドルーター」と「ホットスポット」、企業向けの「VPN アクセスルーター」と「M2M(Machine To Machine)の4タイプに分けることができる。

これらはそれぞれ価格帯も異なっており、ホットスポットタイプは2万円以下、ブロードバンドルータタイプは4万円前後、M2Mタイプは5~8万円。そしてVPN アクセスルータタイプは5万円前後から15万円以上するものまで幅広いラインナップとなっている。

販売数、売上高予測



年度	実績	見込	予測		
	2007	2008	2009	2010	2011
数量(万台)	5.5	11.0	23.0	36.0	53.0
対前年比	-	200.0%	209.1%	156.5%	147.2%
金額(百万円)	5,300	8,400	11,200	13,500	17,200
対前年比	-	158.5%	133.3%	120.5%	127.4%

(出典：MCA)

2008年度のモバイルルータの市場規模は11万1000台と推定される。内訳は、「ブロードバンドルータ」と「ホットスポット」製品が24万台、企業向けの「VPNアクセスルータ」が3万2000台、自動販売機の売り上げ管理や自動検針などの「M2M」製品が5万5000台である。

09年以降のモバイルルータ製品の動向を大きく左右するファクターとして挙げられるのがWiMAX、次世代PHS、LTEなどの次世代モバイルデータサービスの登場である。

WiMAXはKDDI系のUQコミュニケーションズが2月に試験サービスを開始しており、7月に

は商用サービスに移行。次世代 PHS はウィルコムが 09 年 4 月に試験サービスを開始し、10 月の商用サービスの提供を目指している。

最大 20～40Mbps の高速データ通信サービスが月額 5000 円程度で利用できるこれらのサービスには固定系ブロードバンドアクセスユーザーの一部が移行することも予想される。これらの登場によりモバイルルータのマーケットは大きく拡大するものと見られる。

また、WiMAX と次世代 PHS は 2.5GHz 帯という高い周波数帯を利用しており、屋内では不感地が多く生じると見られることから、これらのサービスを Wi-Fi に変換して室内で利用できるようにするサービスノードとしての利用が広がるものと予想される。

他方、既存事業者でもイー・モバイルが、09 年前半にも 3.9G 用として 1.7GHz 帯の 10MHz 幅を新たに割り当てられる見通しで、HSPA 拡張方式 HSPA Evolution による下り最大 20Mbps のサービスが 09 年にも、10 年には DC-HSDPA による最大 40Mbps 強のサービス提供が始まる可能性が高い。モバイルブロードバンド事業者が実質 3 社となることでモバイルルータ市場の拡大ペースは、さらに加速すると見てよいだろう。

こうしたネットワーク環境が整備されることで、既にゲーム機などコンシューマーデバイスに広がってきた Wi-Fi 対応がさらに加速することが予想される。ネットワークの整備とデバイスの Wi-Fi 対応の拡充が両輪となって 2010 年にはマーケットが本格的に離陸するものと考えられる。

調査資料の詳細

発行日:2009 年 3 月

判型:PDF 形式 A4 判 40 ページ

販売形態:ダウンロード販売

発行・販売:株式会社 MCA

〒117-0022 東京都豊島区南池袋 3-18-30 ファースト日野ビル 4F

TEL03-5928-5925/FAX03-5928-5921

URL . <http://www.mca.co.jp> E-mail . info@mca.co.jp

頒価:73,500 円(税込み)

調査期間:2008 年 12 月～2009 年 2 月

資料の問い合わせ先

株式会社 MCA(<http://www.mca.co.jp/>)

TEL03-5928-5925/FAX03-5928-5921